



目次

◇青森まるっとよいどころ祭り～青森ひみつ発県！リンゴだけじゃねえべ？～ 開催報告	1
2015年度からの新たな取り組み	2
◇あおり立志挑戦塾 まち歩き	3
◇イノベーション・ネットワークあおり あおり産学官金連携Day2015	3
◇2015年度公開講座 報告	4

青森まるっとよいどころ祭り～青森ひみつ発県！リンゴだけじゃねえべ？～ 開催報告

2015年10月3日(土)青森市新町商店街において、本学主催、香取薫(学長兼地域研究センター長)研究室プロデュース、青森市新町商店街振興組合後援の『青森まるっとよいどころ祭り～青森ひみつ発県！リンゴだけじゃねえべ？～』を開催いたしました。青森市新町商店街振興組合主催の「しんまちフェスタ 青い森のハロウィン」等の催事も同日開催され、多くの方にご来場いただき、大盛況のうちに終了しました。

今年度は、昨年度に続き2度目の開催で、県内から青森市、鱒ヶ沢町、おいらせ町、風間浦村、佐井村、外ヶ浜町、南部町、西目屋村の計8市町村から出展のご協力をいただきました。また、青森県との人材育成に関する連携協定に基づいて展開しているあおり立志挑戦塾のOB・OGで構成するあおり立志挑戦の会の「ままさプロジェクト」、本学周辺町会の雲谷町会にも出展のご協力をいただきました。加えて、学術連携協定を結ぶ公立はこだて未来大学からも資料提供のご協力をいただきました。

会場は、第1回のご好評を受け、ブースが倍に拡大され、出展者が増えたことから会場全体の規模も前年度から倍以上に拡大されました。さらに、新町キューブが休憩スペースやイベント会場として使用され、多くの来場者の皆様にご利用いただきました。

当日は、開始時刻の午前10時から多くの方が会場を訪れ、午後3時の終了時刻を待たずして商品が完売するブースが出るほどの盛況でした。学生が企画した地域の情報を発信する「我がまちいいとこ自慢クイズ大会」や工芸品や加工食品を販売する「学生イチオシ！青森まるっと“秘密の逸品”販売会」、学生が出展地域を訪れて撮影した「青森地域観光PR動画放映」にも多くの来場者の注目が集まりました。

今年度も各自治体や来場者からのアンケート調査等の集計結果を基に、十分な検証作業を行い、来年度以降の継続・発展実施に向けて努力を重ねていきます。また、結果の一部は、今後、本ニューズレターでも取り上げる予定です。

本事業を通じて、学生や教職員が地域住民の方々と共に、地域経済活性化のために積極的・主体的に行動することは、地域貢献のみならず、本学の実践的な経営経済研究・教育の機会にもなります。今後もそれら3つの重要な使命を果たすべく、本学は丸となって取り組んでいきます。



当日の会場の様子(左)と開会挨拶する本学の福土理事長(中)、香取学長(右)

青森まるっとよいどころ祭り～青森ひみつ発見！リンゴだけじゃねえべ？～ 2015年度からの新たな取り組み

第2回を迎えた「青森まるっとよいどころ祭り」では、プロデュースを担った本学学生による様々な企画が展開されました。青森市新町商店街振興組合主催の「しんまちフェスタ 青い森のハロウィン」との一体感を演出すべく、会場全体にハロウィン調の装飾を施し、各ブースのPOPは、各出展市町村の地域の特産品を模したものにしました。その他の取り組みから、一部をご紹介します。

◆我がまちいいとこ自慢クイズ大会

第1回で開催された各地の魅力を出演者や学生がステージで語る「我がまちいいとこ自慢大会」は、来場者の皆様からのご好評を受け、クイズ形式の「我がまちいいとこ自慢クイズ大会」へ発展して、開催されました。

クイズのヒントが隠されている各PRの時間には多くの方が注目し、販売されている商品や観光の魅力に関する話を聞いていました。クイズが始まると、来場者の皆様が積極的に参加され、大いに盛り上がりました。クイズの正解者は、くじ引き券が渡され、各自治体・団体から提供いただいた豪華賞品を引き当て、喜ばれていました。



我がまちいいとこ自慢クイズ大会

◆学生イチオシ！青森まるっと“秘密の逸品”販売会

本学が出展した「学生イチオシ！青森まるっと“秘密の逸品”販売会」のブースでは、主に工芸品や加工食品などが展示販売されていました。目新しい商品に、多くの来場者の皆様が立ち止まり、注目を集めていました。

また、イベント当日だけでなく、多くの人々が青森県内に出かけていただけるように、展示販売できなかった産品や各地の観光情報を記載した各種リーフレットや、近年注目を集めている「ふるさと納税（ふるさと寄附金）」の案内も配布しました。来場者の皆様の多くが、興味を持ったリーフレットを持ち帰っていました。



“秘密の逸品”販売会のブース

◆青森地域観光PR動画放映

新町キューブでは、休憩スペースを利用された方にご覧いただけるように、学生が制作した各地の観光PR動画を放映しました。出展の交渉や、産品や観光資源の調査に訪れた際に撮影した動画を編集・加工し、青森地域の魅力を発信しました。

また、地域の産品を使った簡単な料理作りに学生が挑戦し、その模様も放映しました。あまり料理作りに慣れていない学生でも簡単に作ることができる料理とそのレシピも公開していました。新町キューブに来場された方は、休憩スペースを利用しながら動画に注目していました。



動画が放映された新町キューブ

◆新町商店街で利用できるサービス券の配布

青森市新町商店街振興組合と参加店舗のご協力の下、当日各ブースでお買い上げいただいた方に対して、新町商店街の一部の店舗で利用可能なサービス券を配布しました。当日は、多くの来場者の方に各ブースで産品をお買い上げいただき、サービス券をお渡しすることができました。

本事業をきっかけに、多くの方々に青森地域の産品や観光資源をはじめとした地域資源に触れていただきました。今後も、地域それぞれの「現場」を大切にしながら地域活性化のために地域の皆様との連携・協働を進めていきます。

あおもり立志挑戦塾 まち歩き

本学が青森県とあおもり立志挑戦の会（ARC）が協働でおこなう人財育成とネットワークづくりを目的としたプロジェクト「あおもり立志挑戦塾」の活動の一環として、今年度はまちづくりについて理解を深めるため、新たに大鰐町と黒石市、七戸町でまち歩きが行われました。

大鰐町では、まず、県内外から高い評価を受けているしいたけを栽培する現場を見学しました。ビニールハウスで栽培されているしいたけを実際に見ながら関係者の方から説明を受けました。塾生は、熱心に質問をしながら地域活性化の要点を探っているようでした。その後、道の駅や寺院、地元の老舗商店等を歩いて回りました。文化的・経済的な地域資源に触れながら、大鰐町の取り組みについて理解を深めていました。

普段は、塾長や講師陣による講演を聴き、グループディスカッション等を通して、青森地域の活性化や塾生各自の志について考えていますが、実際にまちを歩くことによって大きな刺激を受けたようでした。「私の『ふるさと貢献プラン』」と題したグループディスカッションでは、まち歩きでの気づきや学びを活かした議論が白熱し、充実したものとなりました。

黒石市と七戸町のまち歩きは、それぞれ別日程の塾の後に行われ、普段は見逃してしまうような地域資源に触れ、まちの歴史や伝統、文化、産業に関する理解を深めていました。訪れたことのある地域や馴染みの深い地域でも、説明を聞きながらじっくり歩くことによって新たな発見が多くあったようで、「まち」の奥深さを感じている様子でした。

あおもり立志挑戦塾では、今後も青森地域の人財育成のため、多様な活動が展開されます。ぜひ、ご注目ください。



しいたけ栽培を見学する塾生

イノベーション・ネットワークあおもり あおもり産学官金連携Day2015

中西廣研究員がタスクフォースメンバーとして参加する「イノベーション・ネットワークあおもり」が、2015年10月28日（水）にホテルナクアシティ弘前で、「あおもり産学官金連携Day2015」を開催しました。

当日は、イノベーション・ネットワークあおもりに関連して、「イノベーション・ネットワークあおもり第5回産学官金ラウンドテーブル」と「ものづくり産業パートナーフォーラムinひろさき」、「あおもり産学官金連携推進フォーラム2015」が開かれ、多くの参加者が訪れました。

産学官金ラウンドテーブルでは、グローバルビジネス学会の丹羽宇一郎会長の「グローバル化における青森県の挑戦」と題した特別スピーチの後、産学官金に関連した県内10機関の代表が「地域特性を生かした産業の域外展開について」というテーマで意見交換を行いました。

ものづくり産業パートナーフォーラムでは、先端的な技術を持つ首都圏や県内のものづくり企業、学術研究機関、中小企業支援機関など約50社・団体が展示発表や個別のマッチング商談を行いました。

あおもり産学官金連携推進フォーラム2015では、グローバルビジネス学会の井之上喬副会長が「地方創生実現のためのリレーションシップ・マネジメント」、スタック電子株式会社の田島瑞也名誉会長が「産学官金連携を軸にGNT（グローバルニッチトップ）事業化の築き〜グローバル社会に挑む中小企業の事例紹介〜」と題して特別講演が行われました。

イノベーション・ネットワークあおもりは、県内の地域資源の潜在力を結集した新産業・新事業の創出促進を目的とした県内横断的な産学官金のネットワークです。

本学地域研究センターでは、今後も産学官金の関連機関との連携の下、多様な活動をしていきます。



あおもり産学官金連携推進フォーラム2015の様子

2015年度 公開講座 報告

今年度の公開講座は、現在までに2つの講座が開講され、終了しました。講座後のアンケートでは、多くのご意見・ご感想をいただきましたので、一部をご紹介します。

◆大学院公開セミナー

「グローバル化時代の青森地域経済とその活性化」—地域経済構造改革の必要性—

本講座は、フェスティバルシティ・アウガ5階の男女共同参画プラザ研修室で2015年6月から7月にかけて開講されました。「グローバル化時代」をテーマに、本学大学院の担当教員等が各自の専門的視点から「青森地域経済の課題」を示し、具体的な解決策を提起しました。すべての回において、受講者の皆様からいただいた多くのご意見やご質問をきっかけに、活発な議論が展開され、大盛況のうちに終了しました。

延べ219名の方に受講いただき、多くのご好評をいただきました。

ご意見・ご感想

- ・非常に興味深い講座でした。非常に具体的で面白かったです。分かりやすく話してくれて地域経営についてよく分かった。
- ・青森県外や世界にも目を向けながら地域経済の活性化について学ぶことができてよかった。



◆外国語会話講座—Tourism English・Business English・TOEIC—

本講座は、フェスティバルシティ・アウガ6階の青森公立大学まちなかラボで2015年7月から9月にかけて、Tourism English(初級・中級)、Business English(初級)、TOEIC(500点・700点)の、全5コースが開講されました。受講者の皆様は、それぞれの講師や他の受講者の方との英語コミュニケーションを楽しみながら学んでいました。

延べ46名の方に受講いただき、多くのご好評をいただきました。

ご意見・ご感想

- ・TOEICに初めてふれました。だいたいどういうものなのか、自分のレベル等知ることができよかったです。
- ・社会人になってから久しぶりに“先生”のいる講座を受講しました。また参加したいと思います。



多目的サテライト 青森公立大学まちなかラボ



本学の教職員、学生とともに、地域社会に関する研究、各種プロジェクトを行う際のディスカッションの場、地域振興、産学官連携に関する相談窓口として、ご利用下さい。経営相談も承ります。

〒030-0801 青森市新町1-3-7 青森駅前再開発ビル(アウガ)6階
 電話:017-718-7025 Fax:017-776-2082
 E-mail:lab@bb.nebuta.ac.jp
<http://www.nebuta.ac.jp/chiken/machinaka-lab/>
 開室時間 13:00~21:00

(毎週日曜日、年末年始、アウガ全館休館日、5~8階公共施設休館日は、休業いたします。)